

引戸用レールセット

取付説明書 – アペリードST型 –

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工を行なう前に必ず取付説明書をお読みください。
- レールのレベル差が大きいと戸車等の耐久性が著しく低下する場合があります。
- 基礎コンクリート深さが250mmと異なる場合は別途現場手配で、M8寸切りボルト等をご用意ください。
- ご使用になる場所に合わせて基礎寸法を算定してください。本取付説明書に記載している基礎寸法は、長期地耐力100KN/m²、風速34m/s（※）相当の地域を想定し、4ton車クラスの車両通行を考慮した参考寸法です。
施主様の使用条件により基礎寸法が異なる場合がありますのでご注意ください。
※建築基準法施行令第87条に規定される、Voに準じた風速。
- 製品の施工については、必ず各製品の取付説明書に従ってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

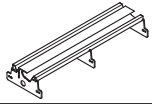
<施工上のご注意>


注意

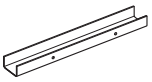
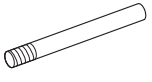



- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 引戸走行床面は水平に仕上げてください。
- 電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。
必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■梱包明細表

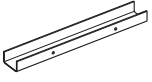
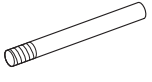





【1】レールセット

名 称	略 図	員 数
レール本体		2

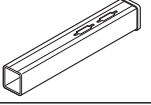


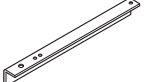
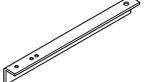
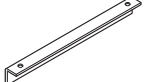
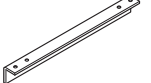
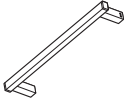


【2】幅木セット

名 称	略 図	員 数
レール幅木		1
レベルボルト M8×200		2
【2-1】 M8六角ナット		4
【2-2】 M8平座金		4
【2-3】 M6×16ナベ小ネジ		4

【3】幅木セット (取説入り)

名 称	略 図	員 数
レール幅木		1
レベルボルト M8×200		2
端部水切り材		2
さび止め剤		1
【3-1】 M8六角ナット		4
【3-2】 M8平座金		4
【3-3】 M6×16ナベ小ネジ		4
取付説明書 (D490)	—	1

【4】戸当り柱セット (アペリードST型)

名 称	略 図	員 数
戸当り柱		1
スクリーンパネル取付金具R		1
スクリーンパネル取付金具L		1
戸当り位置決め材1		1
戸当り位置決め材2		1
戸当り筋交い材		1
戸当り幅決め材		1
スクリーンパネル		1
【4-1】 M6×16六角ボルト (PW+SW)		16
【4-2】 φ5×16ドリルネジ		2

1. レールの納まり (断面)

※基礎寸法は参考値です。

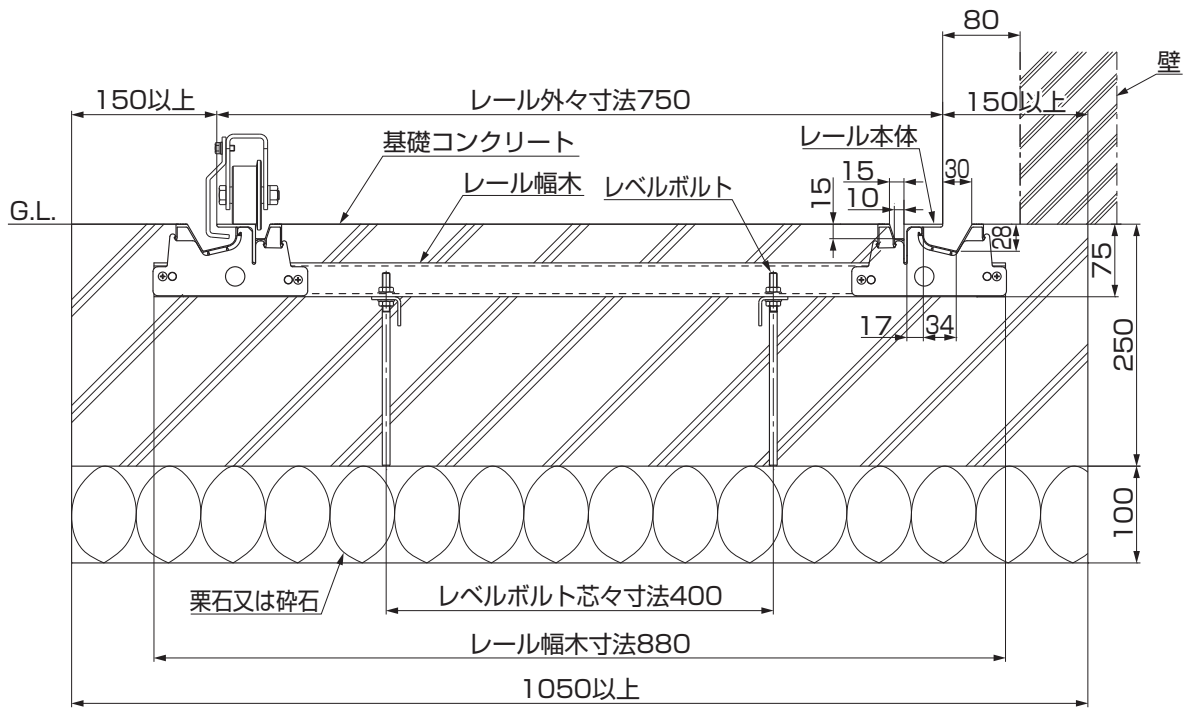


図1-1

2. レールの納まり (施工例)

2-1 アペリード (片引き)

※図は右引き仕様を示します。

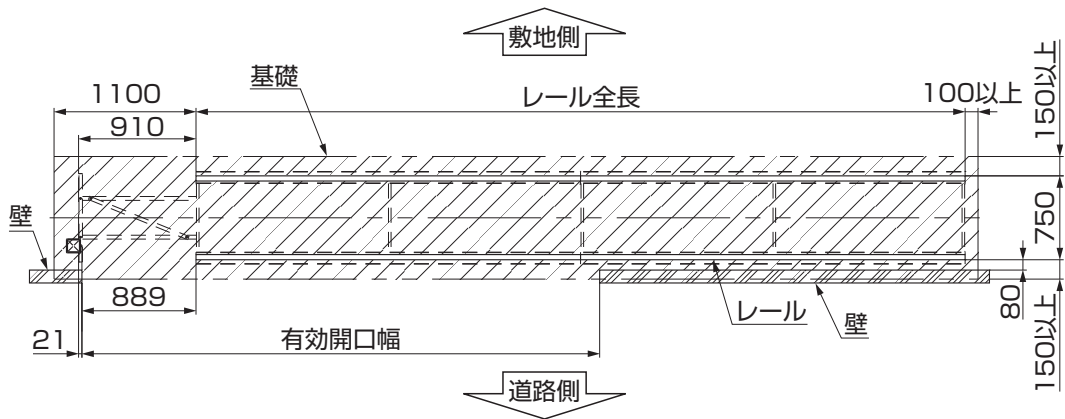


図2-1

ポイント

- 引き始め側の壁端部から889mmの位置からレールを配置します。
- 壁とレールの隙間は80mmとしてください。
- レール端部に水切り用の排水溝を設けてください。

2-2 アペリード (両引き)

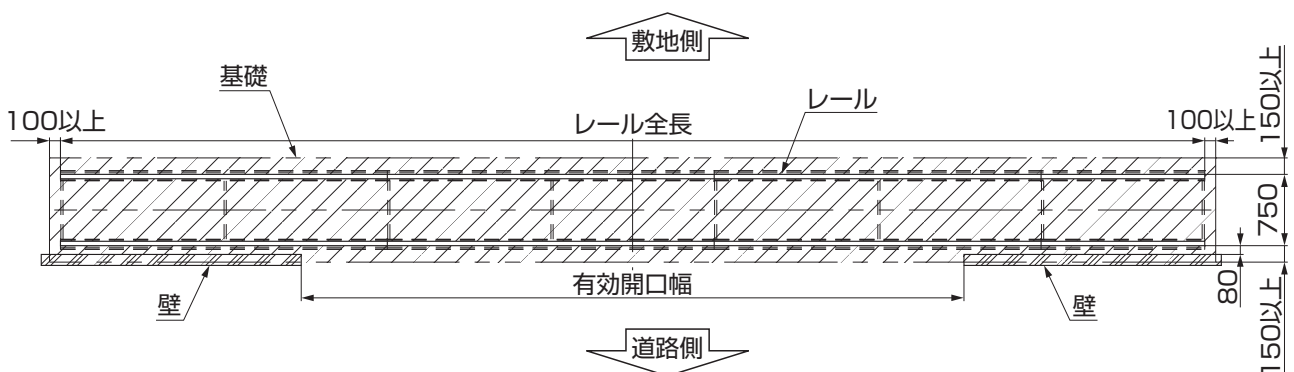


図2-2

ポイント

- 有効開口幅の中央を基準にレール全長を左右均等長さになるようにレールを配置してください。
- 壁とレールの隙間は80mmとしてください。
- レール端部に水切り用の排水溝を設けてください。

3. レールの組立て

3-1 レール幅木の取付け

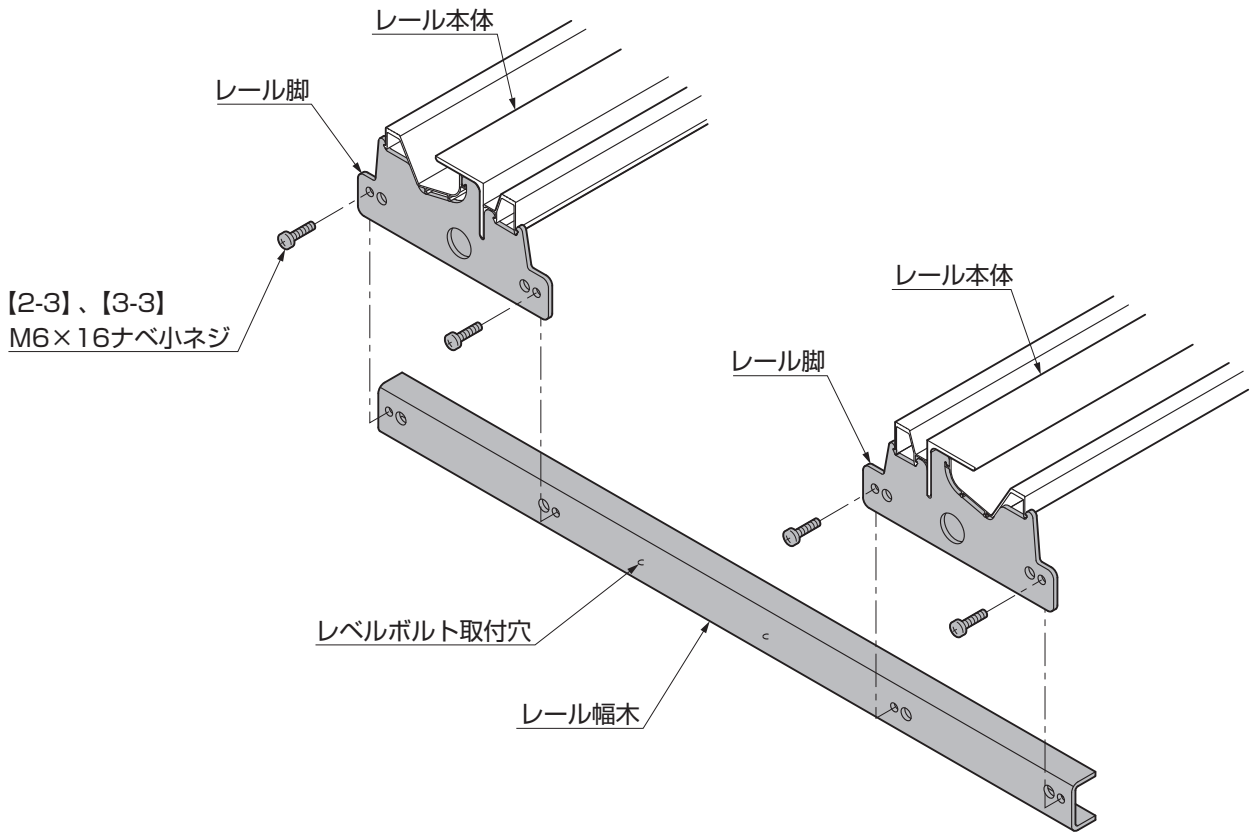


図3-1

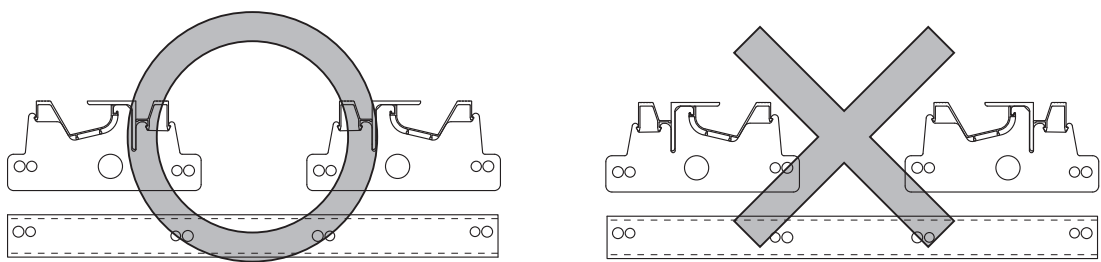


図3-2

- ①レール本体のレール脚部分に【2-3】（【3-3】）でレール幅木を取付けてください。レール幅木はレベルボルト取付穴が下向きになるように取付けます。（図3-1参照）

ポイント

- レール本体とレール幅木は正しい向きでないと取付けることができません。組付かない場合は、図をよく確認してレール本体とレール幅木を正しい位置に置いてください。（図3-2参照）
- レール脚は左右2箇所ずつ穴が空いています。ボルトは外側の穴を利用して幅木と組付けてください。内側の穴はシノ棒などでネジの穴位置を合わせるために利用してください。

3. (つづき)

3-2 レール連結部の組立て

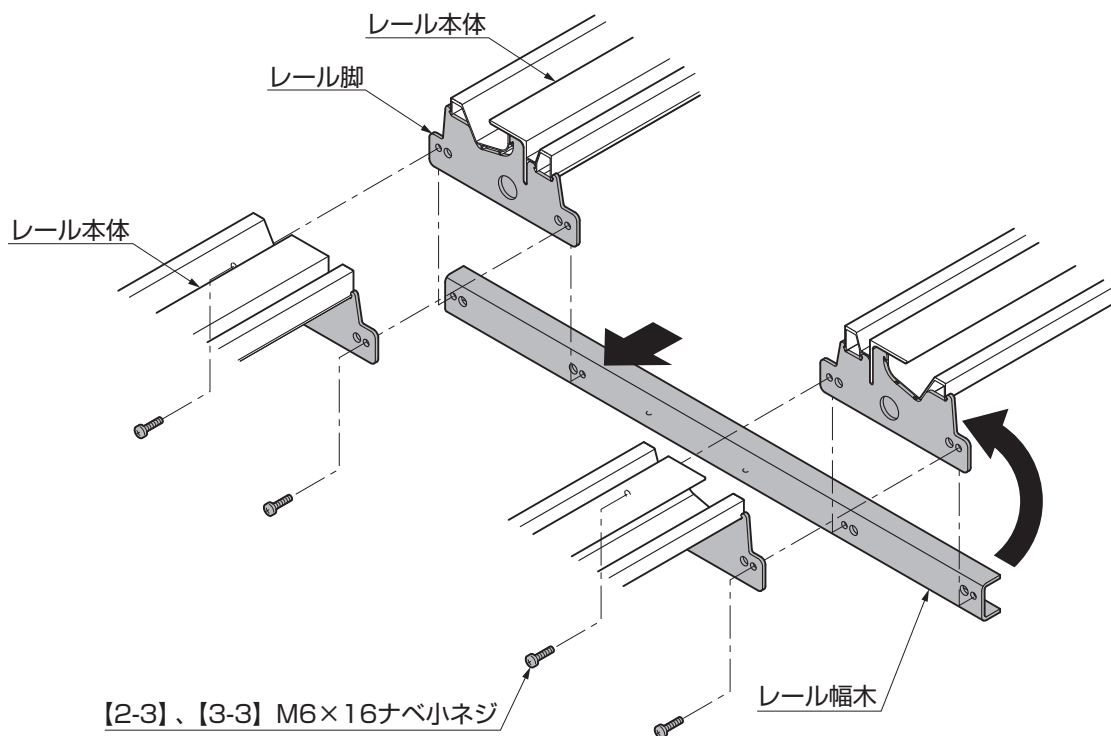


図3-3

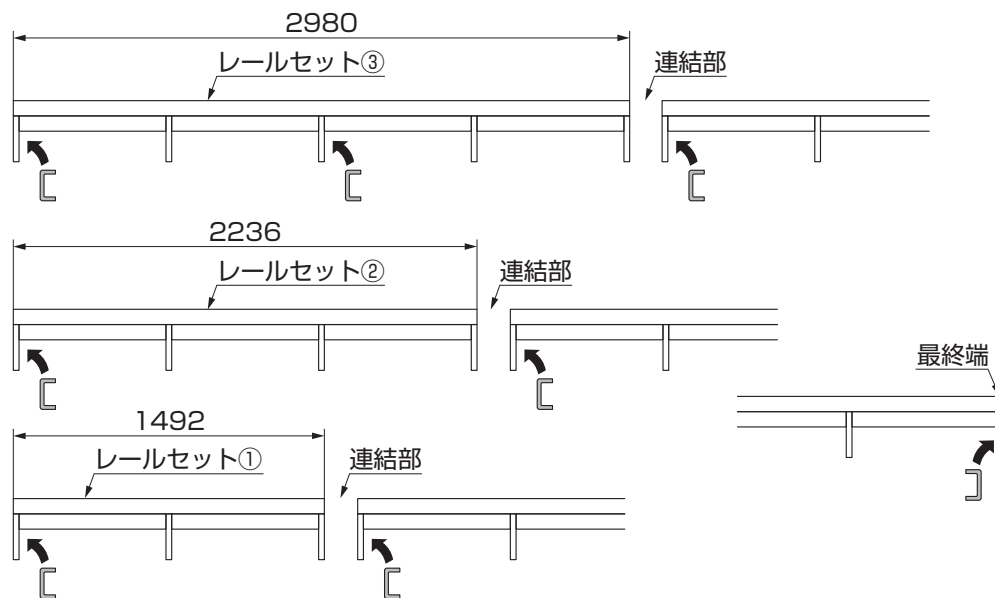


図3-4 幅木の配置

①レール本体端部のレール脚部分を図のように合わせてレール幅木に【2-3】（【3-3】）でレール供絞めしてください。

補足

●レール幅木の本数は各レール脚の数より少なくなっています。図3-4を参考にレール幅木を取付けてください。

3-3 レベルボルトの取付け

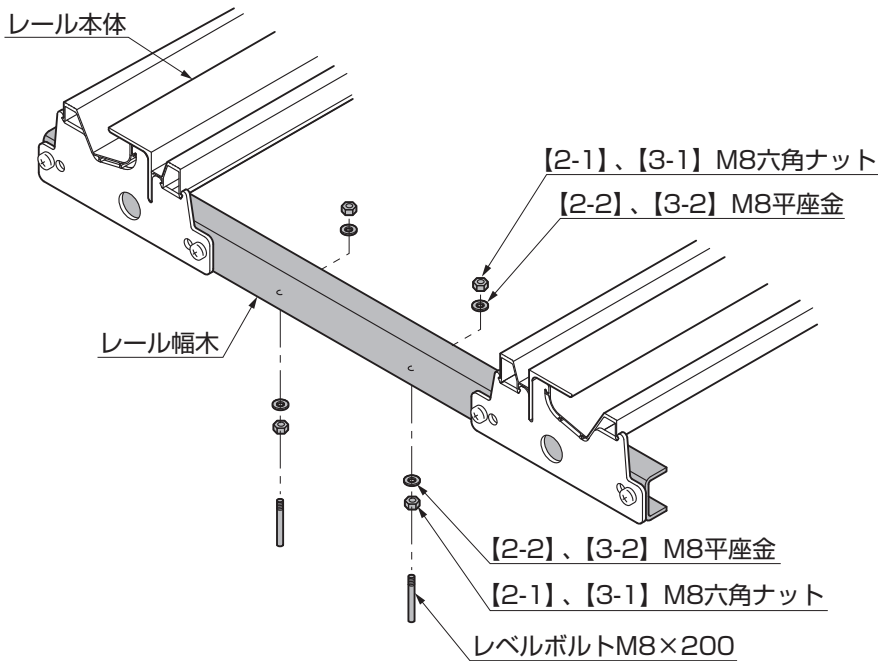


図3-5

- ①レール幅木にレベルボルトM8×200を【2-1】（【3-1】）、【2-2】（【3-2】）で取付けてください。

補足

- レベルボルトM8×200は基準寸法から-6mm~+15mmの範囲で調整できます。（「1.レールの納まり（断面）」の図1-1参照）
- 基礎コンクリート深さが250mmと異なる場合は別途現場手配にてM8寸切りボルト等をご用意ください。

3-4 レール端部のコンクリートよけ処理

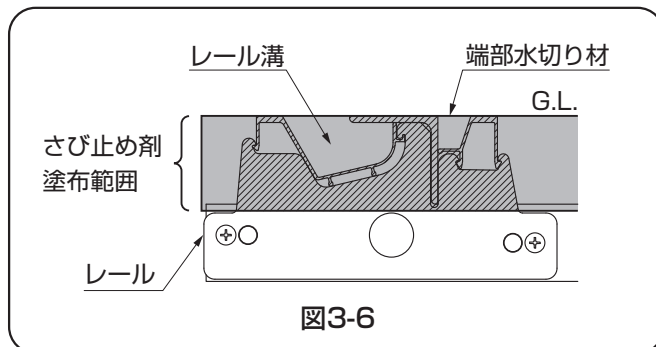


図3-6

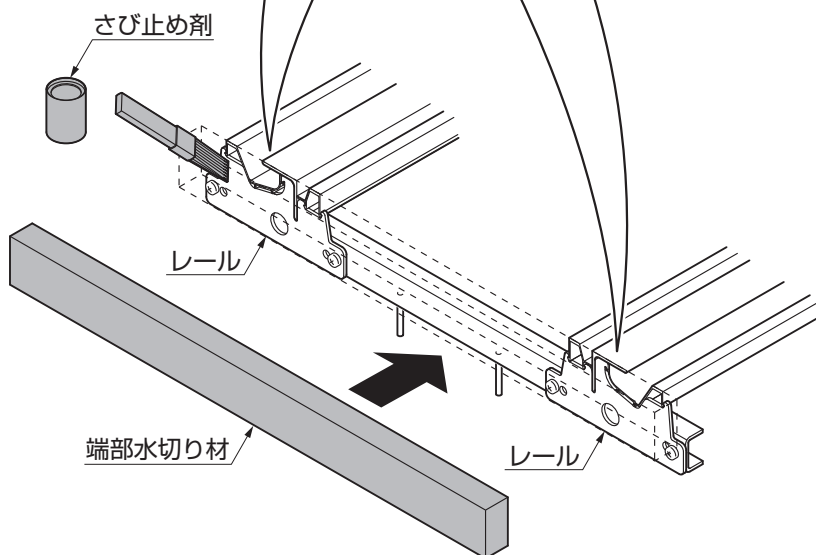


図3-7

- ①端部水切り材を取付ける前に、同梱されているさび止め剤をレール端部の側面（図3-6の斜線部分）に塗布し、防錆処理を行なってください。

ポイント

- さび止め剤は塗布後1時間以上乾燥させた後、端部水切り材を取付けてください。

- ②コンクリート打設時にレール溝にコンクリートが流込まないように、レール端部に端部水切り材を養生テープ等で取付けてください。
- ③コンクリート硬化後に端部水切り材を取り除き、排水溝としてください。
- ④端部水切り材を取り除いた後、再度レール側面にさび止め剤を塗布してください。

ポイント

- 養生テープ等は別途現場手配してください。
- 端部水切り材にてコンクリートよけ処理をしないと、レール溝にコンクリートが流入してしまい引戸がレール上を走行できなくなります。
- 端部水切り材より基礎端部まで水切り用の排水溝を設けてください。レール溝に水がたまると引戸の開閉ができなくなるおそれがあります。

4. 戸当り柱の施工

※片引き仕様のための作業です。

4-1 戸当り柱の施工

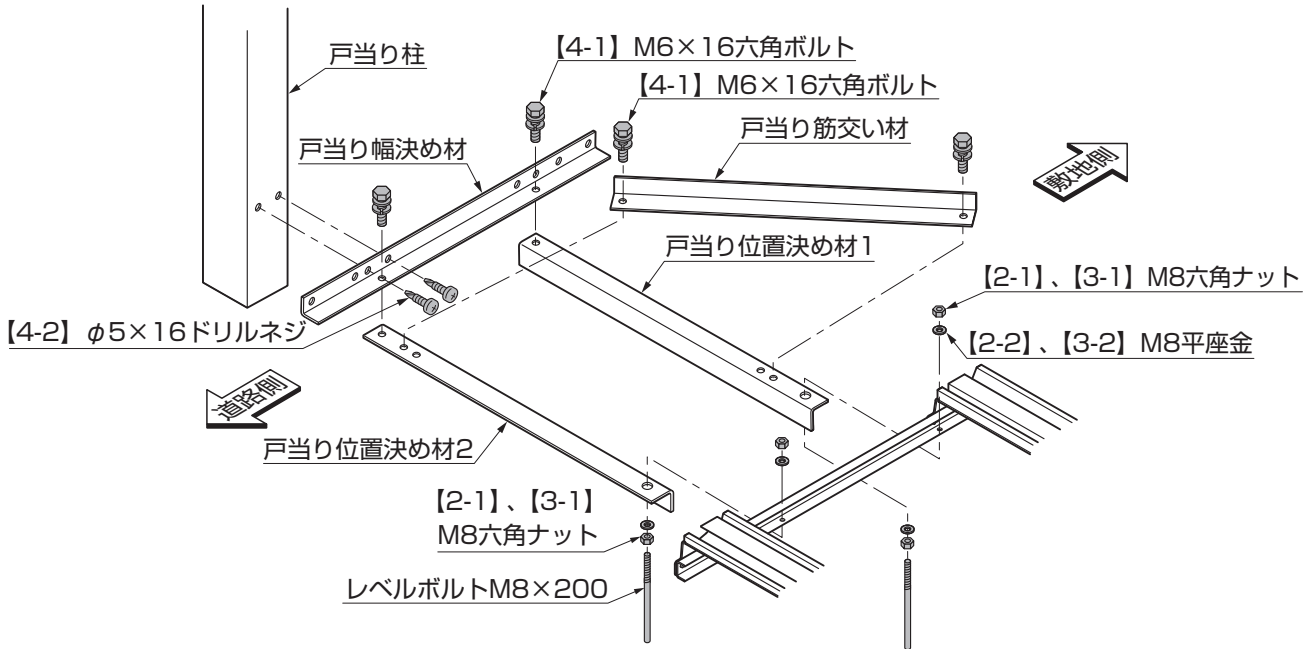


図4-1 右引き仕様

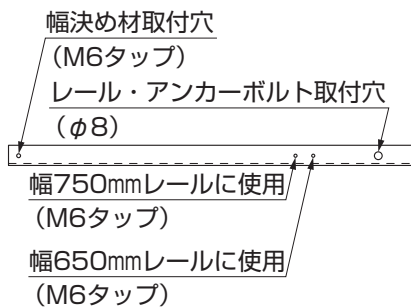


図4-2 位置決め材1

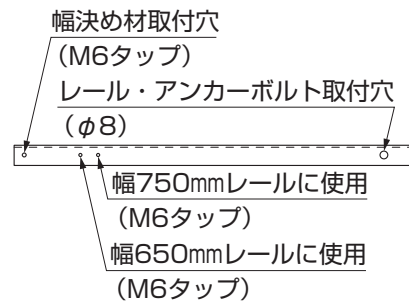


図4-3 位置決め材2

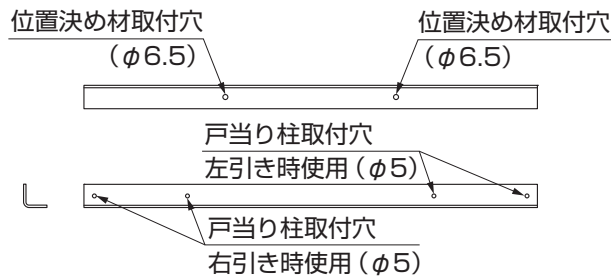


図4-4 戸当り幅決め材

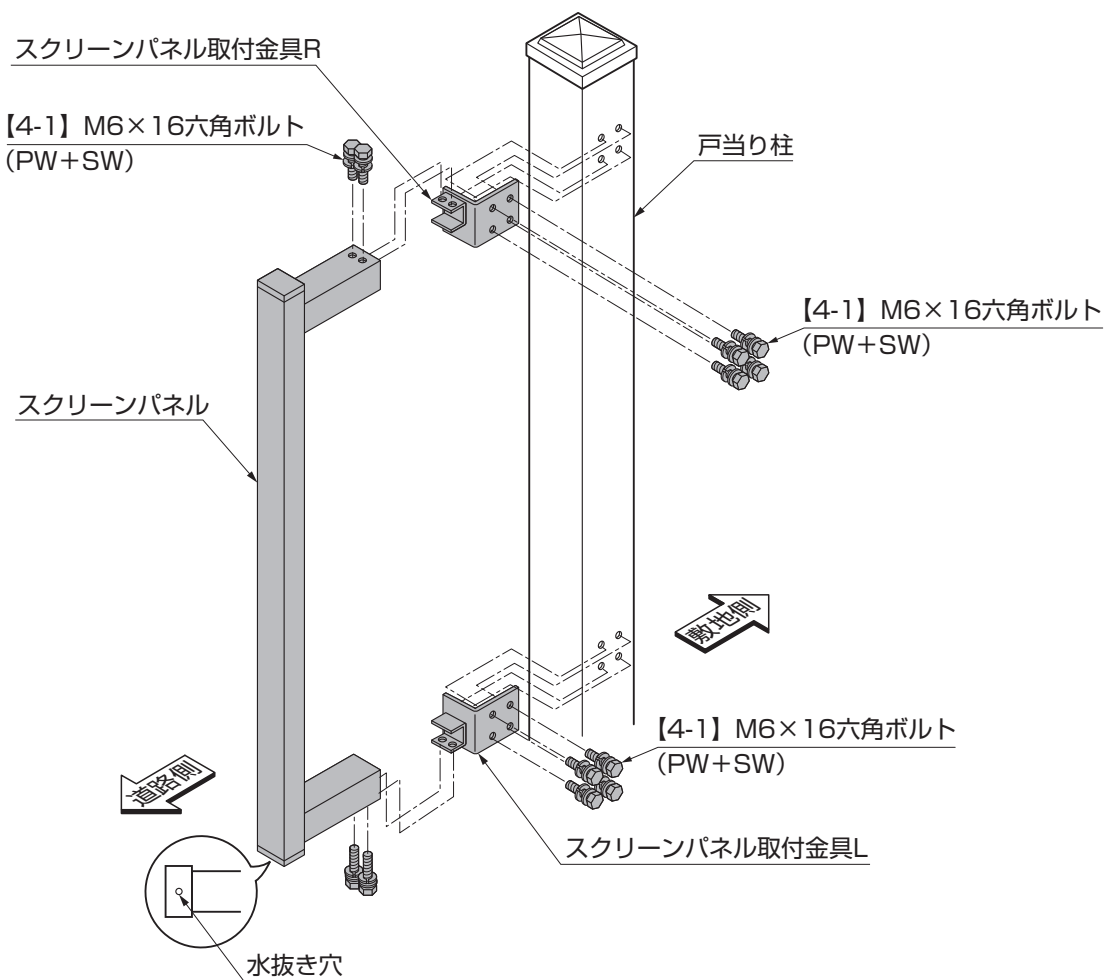
- ①片引き仕様のレール戸当り端部にレベルボルト、【2-1】(【3-1】)、【2-2】(【3-1】)で戸当り位置決め材1、戸当り位置決め材2を取付けてください。(図4-1参照)
- ②戸当り筋交い材を図4-2、図4-3を参照して戸当り位置決め材に【4-1】で取付けてください。(図4-1参照)
- ③戸当り幅決め材を戸当り位置決め材に【4-1】で取付けてください。(図4-1参照)
- ④戸当り柱を図4-1、図4-4を参照して、戸当り幅決め材に【4-2】で取付けてください。(図4-1参照)

ポイント

- 戸当り柱取付け位置はあやまった位置に取付けないように十分注意して確認の上取付けてください。あやまった位置にて施工をすると引戸本体との召し合わせ位置が合わずに、錠が掛けられなくなってしまいます。
- 位置決め材・幅決め材は戸当り柱の埋込み位置を簡易に出すための補助治具です。コンクリート埋設を行なう前に倒れ防止の補強を必ず行なってください。
- 戸当り柱は垂直に施工してください。

4-2 スクリーンパネルの取付け

※片引き仕様の場合のみの作業です。
本図は左引き仕様の場合です。



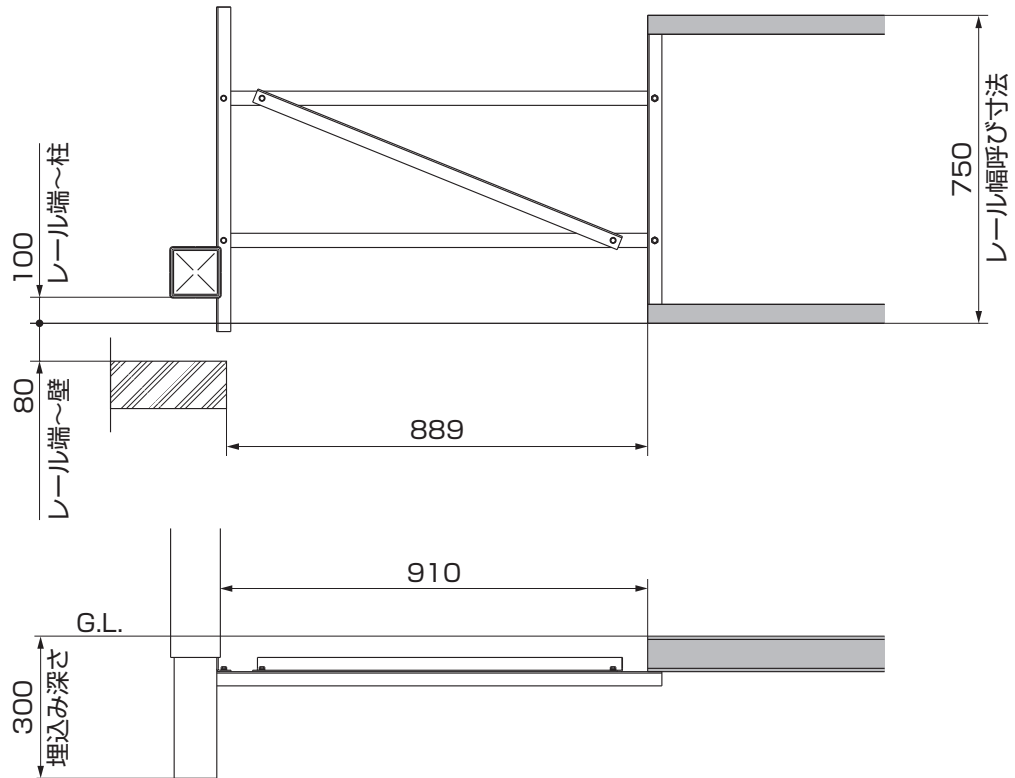
- ①戸当り柱の道路側に向けて、スクリーンパネル取付金具R、スクリーンパネル取付金具Lを【4-1】で戸当り柱に取付けてください。
- ②取付けたスクリーンパネル取付金具R、Lにスクリーンパネルを差込んで【4-1】で固定してください。

ポイント

- スクリーンパネルには上下の向きがあります。コーナーのキャップを確認して、水抜き穴(φ6)のある方を下にして取付けてください。

4. (つづき)

4-3 戸当り柱位置寸法確認表



ポイント

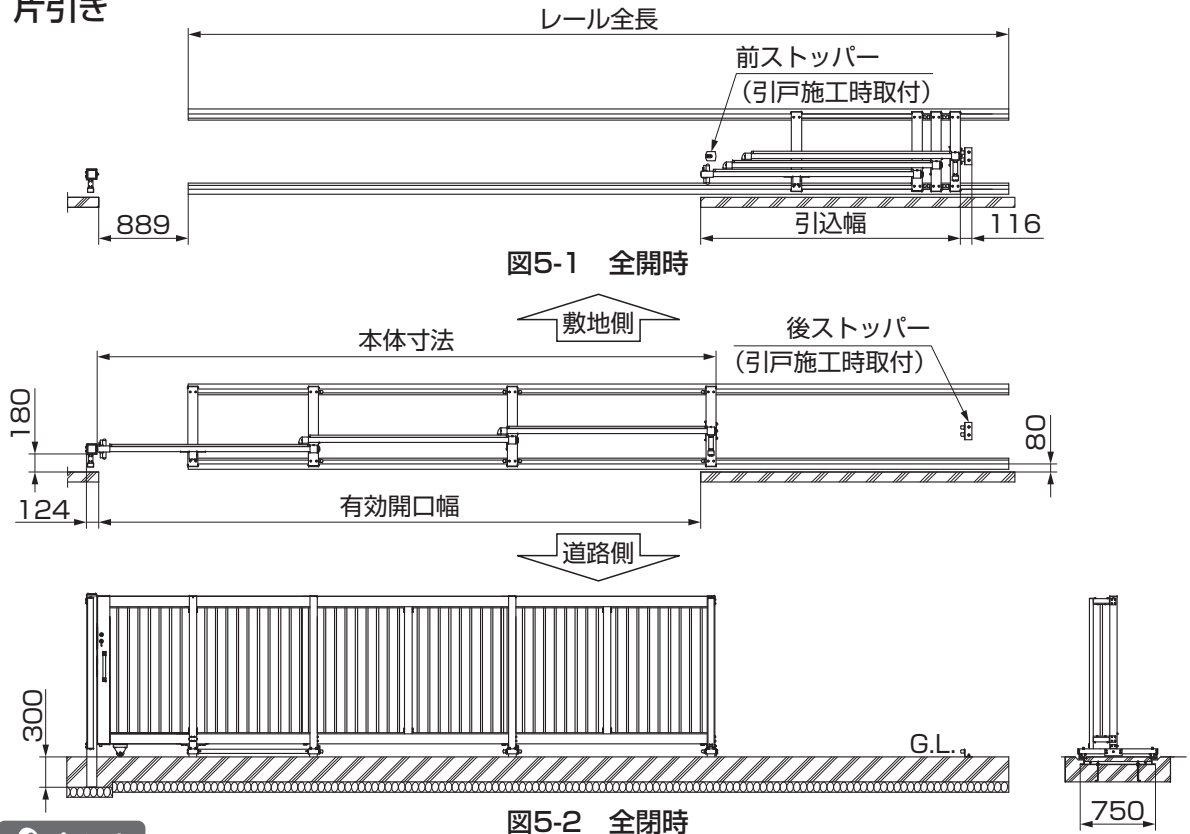
- 戸当り柱埋設前に柱位置を必ず確認してください。
- 柱とレールの位置がずれると錠が掛らなくなります。

5. 施工と納まり

※コンクリート埋設前に寸法確認を必ず行なってください。

5-1 アペリードST型納まり

(1) 片引き



ポイント

- 前ストッパーと後ストッパーは引戸施工時に取付けます。

表5-1 片引きタイプ

	パネル組合わせ	有効開口幅	引戸全長	引込幅	レール全長	レール組合わせ
2連	W15×2	3000	3180.5	1896	4472	①+③
	W15+W20	3500	3680.5	2396	5216	②+③
	W20×2	4000	4180.5	2396	5960	③×2
	W20+W25	4500	4680.5	2896	6708	①+②+③
	W25×2	5000	5180.5	2896	7452	①+③×2
3連	W15+W20×2	5500	5665.5	2586	7452	①+③×2
	W20×3	6000	6165.5	2586	8196	②+③×2
	W20×2+W25	6500	6665.5	3086	8940	③×3
	W20+W25×2	7000	7165.5	3086	9688	①+②+③×2
	W25×3	7500	7665.5	3086	9688	①+②+③×2
4連	W20×4	8000	8150.5	2776	10432	①+③×3
	W20×3+W25	8500	8650.5	3276	11176	②+③×3
	W20×2+W25×2	9000	9150.5	3276	11920	③×4
	W20+W25×3	9500	9650.5	3276	11920	③×4
	W25×4	10000	10150.5	3276	12668	①+②+③×3
5連	W20×4+W25	10500	10635.5	3466	13412	①+③×4
	W20×3+W25×2	11000	11135.5	3466	14156	②+③×4
	W20×2+W25×3	11500	11635.5	3466	14156	②+③×4
	W20+W25×4	12000	12135.5	3466	14900	③×5
	W25×5	12500	12635.5	3466	15648	①+②+③×4
6連	W20×4+W25×2	13000	13120.5	3656	16392	①+③×5
	W20×3+W25×3	13500	13620.5	3656	16392	①+③×5
	W20×2+W25×4	14000	14120.5	3656	17136	②+③×5
	W20+W25×5	14500	14620.5	3656	17880	③×6
	W25×6	15000	15120.5	3656	17880	③×6

ポイント

- 有効開口幅 (mm) $\text{総パネル全長} - 150 \times (n - 1) - 210 + 15n$
- 引込幅 (mm) $\text{使用中最大パネル幅} + 190 \times (n - 1) + 11$

5. (つづき)

(2) 両引き

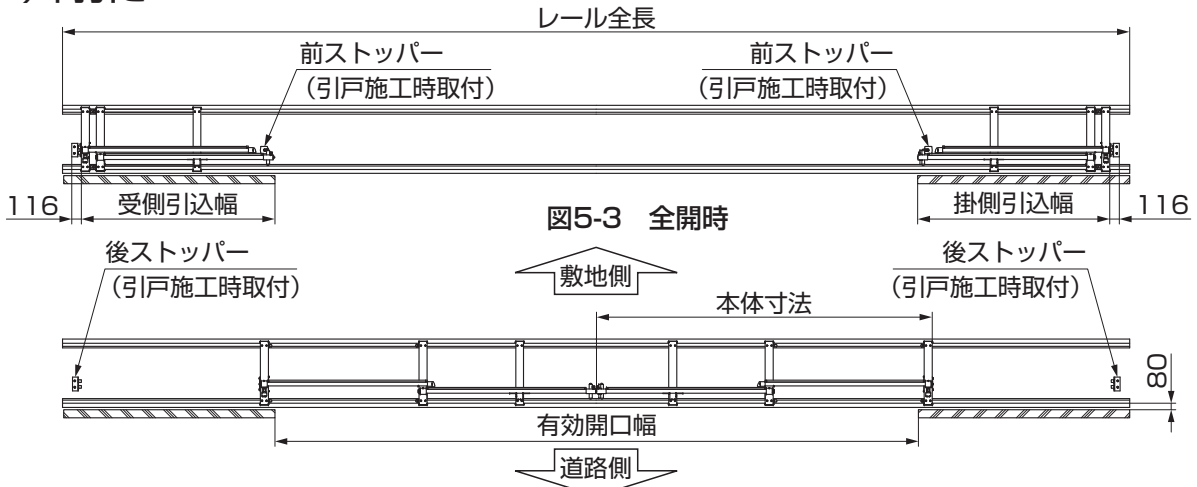


図5-3 全開時

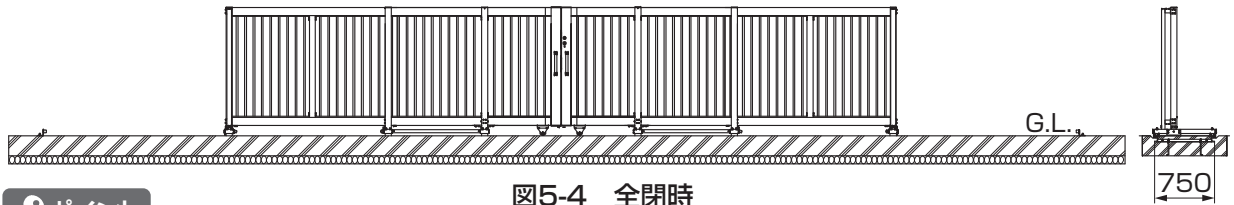


図5-4 全閉時

ポイント

- 前ストッパーと後ストッパーは引戸施工時に取付けます。

表5-2 両引きタイプ

	パネル組合せ	有効開口幅	本体寸法	引込幅 (掛/受)	レール全長	レール組合せ		パネル組合せ	有効開口幅	本体寸法	引込幅 (掛/受)	レール全長	レール組合せ
2連	(W15×2) ×2	6009	3192.5	1896/1913.5	10432	①+③×3	4連	(W20×4) ×2	16009	8162.5	2776/2793.5	22352	①+③×7
	(W15+W20) ×2	7009	3692.5	2396/2413.5	11920	③×4		(W20×3+W25) ×2	17009	8662.5	3276/3293.5	23840	③×8
	(W20×2) ×2	8009	4192.5	2396/2413.5	13412	①+③×4		(W20×2+W25×2) ×2	18009	9162.5	3276/3293.5	25332	①+③×8
	(W20+W25) ×2	9009	4692.5	2896/2913.5	14900	③×5		(W20+W25×3) ×2	19009	9662.5	3276/3293.5	26076	②+③×8
	(W25×2) ×2	10009	5192.5	2896/2913.5	16392	①+③×5		(W25×4) ×2	20009	10162.5	3276/3293.5	26820	③×9
3連	(W15+W20×2) ×2	11009	5677.5	2586/2603.5	16392	①+③×5	5連	(W20×4+W25) ×2	21009	10647.5	3466/3483.5	28312	①+③×9
	(W20×3) ×2	12009	6177.5	2586/2603.5	17880	③×6		(W20×3+W25×2) ×2	22009	11147.5	3466/3483.5	29056	②+③×9
	(W20×2+W25) ×2	13009	6677.5	3086/3103.5	19372	①+③×6		(W20×2+W25×3) ×2	23009	11647.5	3466/3483.5	30548	①+②+③×9
	(W20+W25×2) ×2	14009	7177.5	3086/3103.5	20860	③×7		(W20+W25×4) ×2	24009	12147.5	3466/3483.5	31292	①+③×10
	(W25×3) ×2	15009	7677.5	3086/3103.5	21608	①+②+③×6		(W25×5) ×2	25009	12647.5	3466/3483.5	32780	③×11
							6連	(W20×4+W25×2) ×2	26009	13132.5	3656/3673.5	33528	①+②+③×10
								(W20×3+W25×3) ×2	27009	13632.5	3656/3673.5	35016	②+③×11
								(W20×2+W25×4) ×2	28009	14132.5	3656/3673.5	35760	③×12
								(W20+W25×5) ×2	29009	14632.5	3656/3673.5	36508	①+②+③×11
								(W25×6) ×2	30009	15132.5	3656/3673.5	37996	②+③×12

ポイント

- 有効開口幅 (mm) 総パネル全長 - 150 × (n - 2) - 411 + 15n
- 引込幅 (mm) 掛: 使用中最大パネル幅 + 190 × (n - 1) + 11
受: 使用中最大パネル幅 + 190 × (n - 1) + 28.5

取説コード

D488

JZZ618428B
200903A_1042
201108B_1039